

田沢湖における経済効果

阿部亮弥 高嶋良樹 田畑志帆 矢嶋沙織

田沢湖が潤っていくために…

深刻な課題：日帰り・通過型の観光



田沢湖周辺に宿泊している観光客が少ない

・田沢湖マラソン

例年、4,500人ほどのランナーが集う、全国のマラソン大会の中では大きな大会！！



現状を分析し、更に経済波及効果を高められる方法があるのではないか??

田沢湖マラソンの現状分析

参加者数等 (例年並と想定)

(単位:人)

	県外	県内	計
参加者数	2,000	2,500	4,500
応援者数	2,500	3,000	5,500
計	4,500	5,500	10,000

宿泊人数等

一県外参加者: 1/6=2泊 4/6=1泊 1/6=日帰り

一県内参加者: 1/3=1泊 2/3=日帰り (単位:人)

	県外			県内	
	2泊	1泊	日帰り	1泊	日帰り
宿泊人数等	750	3,000	750	2,200	3,300

一人一日当たりの観光消費額

県外宿泊観光客	32,600円
県外日帰り観光客	6,600円
県内宿泊観光客	24,900円
県内日帰り観光客	5,500円



(, , を基に算出すると…)

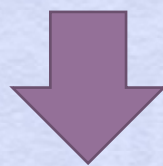
消費支出額(最終需要増加額): 約2億5478万円

(内訳)

- ・県外宿泊者(2泊): 750人 × 32,600円 × 2泊 = 4,890万円
- ・県外宿泊者(1泊): 3,000人 × 32,600円 × 1泊 = 9,780万円
- ・県外宿泊者(0泊): 750人 × 6,600円 = 495万円
- ・県外宿泊者(1泊): 2,200人 × 24,900円 × 1泊 = 5,478万円
- ・県外宿泊者(0泊): 3,300人 × 5,500円 = 1,815万円
- ・大会費用 : 3,000万円

・先ほどの消費支出額をもとに、平成12年秋田県産業連関表を用いて、経済効果を試算する

- (消費支出額はサービス業として試算)
- (消費転換率は平成18年の0.55とする)



経済効果：約3億1700万円

Q,経済効果を増やしていくには…??

A1,宿泊客数を増やす

	県外		県内	
	2泊	1泊	1泊	日帰り
宿泊人数等	1,500	3,000	2,750	2,750

・消費支出額(最終需要増加額):約3億0920万円



・産業連関表を用いた経済効果:約3億8400万円

現状の経済効果3億1700万円に対して、
6700万円(約21%)の増加！！

A2, 県内自給率を上げる

秋田県の県内自給率の特徴

- ・ 第3次産業のほとんどの業種で高い自給率を示している
- ・ 第2次産業(建設業は除く)では平均をかなり下回る

県内自給率の平均: 約0.67

これを0.10上げる、つまり平均約0.77として試算すると・・・

・ 消費支出額(最終需要増加額): 約2億5478万円



・ 産業連関表を用いた経済効果: **約3億6100万円**

現状の経済効果3億1700万円に対して、
4400万円(約13%)の増加!!

A3,参加者・応援者総数を増やす

	県外	県内	計
参加者数	2,500	3,000	5,500
応援者数	3,000	3,500	6,500
計	5,500	6,500	12,000

・消費支出額(最終需要増加額):約3億0153万円



・産業連関表を用いた経済効果:約3億7500万円

現状の経済効果3億1700万円に対して、
5800万円(約18%)の増加！！

波及効果から生じる所得の影響

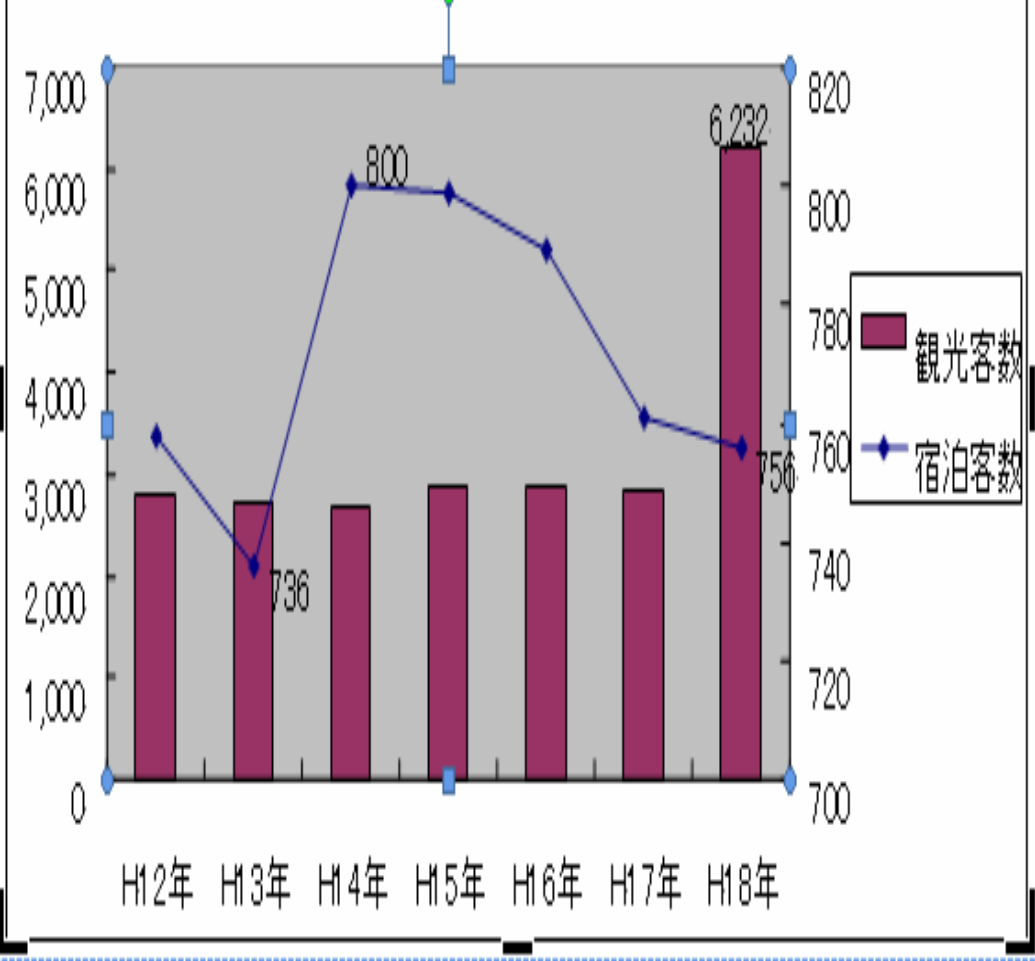
- ◆ 消費転換率0.55
- ◆ 自給率 0.81 0.91

マラソン大会のデータ(A1・A2・A3)を基に算出した場合

雇用者所得誘発額は

約1億9700万円増加

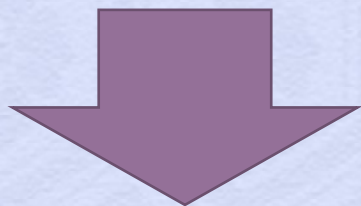
単位:千人 旧・田沢湖町、現・仙北市の観光客数と宿泊客数 単位:千人



- ◆ ・ほぼ横ばいの状態が続く。
- ◆ ・H12年、H13年の宿泊客数は少ないがH14年は増加している。しかしH14年をピークに年々減少し、H18年756000人となっている。
- ◆ ・H18年は市町村合併のため観光客数が増加しているが、その割に宿泊客数が増加していない。むしろ減少している。

提案1

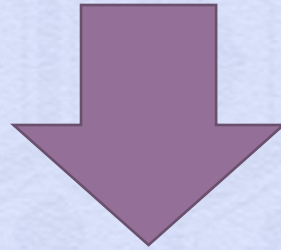
日帰り客から宿泊客への転換



1. 観光客に田沢湖をより詳しく知っていただく
2. 観光客の消費額の増加

提案2

自給率の上昇



地元産の割合を増やし、観光客の消費額が出来るだけ地元へ落ちるようにすることが必要。

観光においては**地産地消**が大切なことである。

田沢湖マラソンをより盛り上げる

突然ですが……



メドックマラソンというマラソンをご存じでしょうか？

メドックマラソンの特徴

- フランスのボルドー地区メドックにおける9000人に達する大会です
- とても有名なマラソンで9月開催にも関わらず4月頃には定員に達する
- 何でもありの大会で、仮装はもちろん乗り物に乗って参加する人もいます
- コースの途中にはワインの試飲コーナーも設置しています
- 残り5キロのグルメコースは「生がき給食所」「サイコロステーキ食べ放題」「チーズの試食」「デザート」といったフルコースが続きます
- 制限時間6時間30分なので徒歩でも大丈夫

田沢湖マラソンに應用すると・・・

- ◆ 乗り物での参加も可能にする
- ◆ 各所にある制限時間を増やし、気軽にマラソン参加ができる状況を作る
- ◆ 地酒の試飲コーナーを設置
- ◆ 田沢湖の名産品を各所に設置する
- ◆ イベント等の催しものを開催する
- ◆ スタートからゴールまでずっと楽しむことのできるコースを作成する

目的

- ◆ 気軽にマラソン大会に参加していただくことによって、田沢湖の認知度を高める
- ◆ 地元の名産を幅広く知っていただくことによって、地元産に興味を持っていただく
- ◆ たくさんの催しものを開催することによって、田沢湖マラソンの常連を増やす
- ◆ 住民も参加者も楽しむ

田沢湖マラソンにおける

消費を増やすには

子供向けの“マラソン”を取り込んだ

サマーキャンプin田沢湖を開催

・マラソンに参加した子供(親子)には観光施設の割引



下の循環図へと続く

子供ラ
ンナー
増加

親が付
き添い

親子
キャンプ

自然の良
さ、田沢
湖の良さ
を知る

もう一度
田沢湖
へ



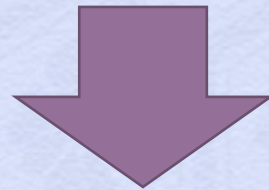
◆開催日の見直し

- ・三連休の二日目に行く
- ・10月に開催
- ・後夜祭の充実
- ・灯りによる夜の幻想的な演出
- ・利用施設の割引などのサービスの充実



まとめ

1. 日帰り客から宿泊客への転換
2. 全体的な自給率の上昇
3. 田沢湖マラソンを利用した田沢湖のPR



観光客のリピーター率の上昇

参考文献・URL

- ◆ 秋田県産業連関表ツール・秋田県観光統計
(美の国あきたネット)
- ◆ 仙北市HP
<http://www.city.semboku.akita.jp/>
- ◆ メドックマラソンHP
<http://www.marathondumedoc.com/pages/en/accueil.php>
- ◆ 自治体の経済波及効果の算出 安田秀穂著